

# 議会だより



題字は豊岡小6年 <sup>たなか</sup>田中 <sup>ほのか</sup>穂香 さんです

No. 99

平成27年1月31日  
発行 大分県日出町議会  
電話 0977-73-3135



## 目次

新成人のみなさんの門出を祝う

- 陽谷駅改修の工事委託協定..... 2  
一般会計補正予算
- 委員会報告..... 4  
総務産業常任委員会・福祉文教常任委員会
- 8人が町政全般を質す ..... 6  
一般質問
- 第1回 住民のみなさんとの意見交換会 ..... 14  
議会改革特別委員会
- 町民の声 ..... 16

## 12月定例会



議員が編集した手づくり議会だよりです

議会などの審議の記録は町のホームページでもご覧いただけます。

平成26年  
12月定例会

12月定例会は、12月5日から19日までの会期で開催されました。初日の本会議では、町長から行政報告のあと、議案に対する提案理由の説明が行われ、補正予算や条例改正など議案16件、承認1件、各種委員の諮問、同意など15日間にわたり審議しました。

審査の結果、補正予算は賛成多数で可決。その他の議案は全会一致で可決となりました。また陳情2件は採択、請願1件は不採択となりました。一般質問は8人が登壇し、町政についてそれぞれが当局の所信を質しています。

第3回臨時議会

11月11日、臨時議会が行われ、陽谷駅改修工事の委託金額確定に伴う補正予算を可決しました。また、「35人学級の存続」を求める意見書の提出を採択しました。

陽谷駅改修の工事委託協定  
JRと総額6億5280万円

13対1で可決

(臨時議会)



完成が待たれる陽谷駅イメージ図

自由通路と駅ホームの工事委託金額がようやく算定されましたが、26年度の完成予定が27年度までずれ込むことになりました。そこで、第3回臨時会において、26年度に執行できる予定の委託額を減額、新たに増額分を含めた27年度の完成に必要な予算6億1470万円が債務負担行為※1で提案され審査の結果、13対1で可決しました。

【反対討論】

佐藤 隆信 議員

陽谷駅の改修費は、当初の議会の報告では5億3000万円ほどでしたが、総事業費は、その約2倍かかる事業になりました。給食センターの建てかえや子どもの医療費の無料化、国保の保険料の値下げ、稲作農家への支援を先に実施すべきです。そのため、当初の予算に戻すくらい縮小すべきだと考えます。

【賛成討論】

森 昭人 議員

陽谷駅は改修によって新しい日出町の顔となり、町内外の人々が集い交流するにぎわいの空間になると考えます。また、障害をもつ方々にとっても、南北自由通路やエレベーター、ホームの拡幅は不可欠です。負担額は決して少なくありませんが、将来必ず日出町の発展に寄与するものと考えます。

異例の  
初日採決

(今定例会)

陽谷駅周辺整備事業は、自由通路とホーム、南北駅前広場と駐車場(北側)の整備などで、総額8億5000万円となります。

陽谷駅周辺整備の内訳

工種	金額
自由通路(JR委託) (補)	4億6800万円
JRホーム(JR委託) (外)	1億8400万円
北側駅前広場 (補)	7700万円
南側駅前広場 (補)	7100万円
駅舎 (補)	5000万円
合計	8億5000万円

※(補)は補助対象(外)は補助対象外  
(補助対象合計6億6600万円)

今回の委託協定締結には議会の議決が必要ですが、執行部から、早期着工を理由に今定例会初日での議決が求められていました。事前の全員協議会を経て、要望どおり初日に採決を行い、審議の結果13対1で可決しました。

※1) 債務負担行為 事業の大型化・複雑化などで、事業が複数年にわたる場合、その年度の予算総額の多寡に関わらず、支出を約束するものです。予算の内容の一部として、議会の議決により設定されます。現実に現金支出が必要なときは、改めて歳出予算に計上しなければなりません。

# 一般会計補正予算(予算委員会)

障害者自立支援給付費の追加計上や、台風19号による被害を受けた農地や施設の復旧費など1億4330万円を計上しています。

## 【主な歳出】 ふるさと納税礼品

現在まで86件554万円のふるさと納税がされています。今後の増額が見込まれるため、追加計上。**40万円**

## 防火水槽設置

消防施設設置事業により、藤原西部地区に防火水槽を設置。**574万円**

## 安心・安全まちづくり

避難地整備のため、日出北浜地区の階段を改修。**2260万円**

## 新図書館に備品

会議室用にテーブルや椅子、プロジェクトなど購入。**5780万円**

## 障害者支援給付

重度心身障害者医療費や障害者介護給付費、障害児通所給付費の増加に対する補正。**6981万円**

## 「回天」大神墓地

記念公園に墓地案内看板とステージを整備。**288万円**

## 農地・施設の災害復旧

台風19号などの農地災害や農業用施設災害の復旧のための工事費。**1573万円**



水路まで崩れ落ちた路肩（南大神）

## 土木関連予算

交通安全施設や道路維持補修、急傾斜対策、道路橋梁等災害復旧など。**1490万円**

## 自治公民館建築補助

豊岡西の三地区のトイレ洋式化、大神上深江地区の屋根と外壁改修、日出堀地区の倉庫増築を補助。**222万円**

## 畜産公社建設補助

県内唯一の産地食肉センターである大分県畜産公社を、将来の販路拡大や部分肉流通の拡大を見据えて、国の輸出戦略に沿って輸出対応可能な食肉施設として整備するために債務負担行為で補助。**1378万円**

## 【主な歳入】

歳入は、国・県支出金を計上し、財政調整基金とまちづくり基金の繰り入れで財源調整します。基金繰入金総額は5324万円です。



少人数で充実した教育を

## 35人学級の存続

財務省が小学校1年生クラスを40人学級に戻すよう文科省に要請していることを受けて、議員発議で意見書を国に提出します。

## 【意見書趣旨】

少人数指導により教員の目が児童に行き届くことで、個に応じた学習指導やきめ細かな生徒指導、授業中の発言機会の増加など効果がみとめられます。現行の制度を続けるとともに、今後は他の学年にも拡大するよう要望します。

# 常任委員会

## 総務産業

### 議案の審査結果

#### 日出町行政手続き条例

処分、行政指導及び、届出に関する手続きに関し、共通する事項を定め、行政運営における公正の確保と透明性の向上を図ります。

#### 総合計画策定に向けて

日出町総合計画の調査及び審議のため、審議会を設置する条例を制定します。

#### 固定資産税の納期の特例

評価替えに伴い平成27年度の固定資産税の第1期分の納期を5月末に変更する条例を制定します。

#### 納入組合廃止

納入組合を廃止するための条例を整理します。



早期改修をお願いします（豊岡の友安川）

### 陳情の審査

#### 友安川改修に関する陳情

豊岡西の一区長 池部長行氏、影の木区長 土屋吾郎氏、ほか地権者代表から提出されました。

#### 【趣旨】

近年、各地で集中豪雨により土砂災害などが発生し多大

な被害が出ている状況を鑑み、

危険要因は速やかに対策を講じ安全を確保することが極めて重要と考え友安川改修工事を要望する陳情。

陳情の趣旨に賛同し採択。

#### 米価格低迷に伴う助成金

べつぷ日出農業協同組合、

べつぷ日出農協稲作部会(日出支部)から提出されました。

#### 【趣旨】

全国的に持越在庫の増大により米価格が昨年産に比べて30kgあたり1500円程度低下し、農家の生産意欲の低下が危惧されています。日出町基幹作物で歴史ある水稻農家の破壊にもつながりかねないことから、生産者と協議し今後の稲作農家の維持存続を確認し助成金交付(お願い)を要望する陳情。

陳情の趣旨に賛同し採択。

### 閉会中の審査

#### 11月11日開催

#### 消防団の備品を更新

消防団の保有する消防車両4台を新車へ、また消防ポンプ3台を入れ替えました。

#### 納税貯蓄組合制度の廃止

町税・国民健康保険税の納税義務者が班内で任意に組織した組合に対する報奨金制度を平成26年度末で廃止することになりました。

#### 【理由】

- ・ 個人情報保護の確保
- ・ 事務負担で組合数の減少
- ・ 助成金支給の違法性
- ・ コンビニ収納の開始など

#### 簡易水道事業の上水道事業への統合

水道事業の安定性や持続性を高めるため、また効率的な経営体制の確立のため、老朽化の進む豊岡簡易水道、南端簡易水道の2地区を平成29年度末までに上水道事業会計に統合し、一元化します。

# 福祉文教

## 議案の審査結果

### 出産一時金の改正

健康保険法施行令などの一部を改正する政令が公布されたことに伴い、日出町国民健康保険条例に定める出産育児一時金の額を従来の39万円から40万4千円に改正します。

### 日出町新型インフルエンザ対策行動計画

新型インフルエンザの脅威から町民の健康を守り安全を確保するため、その措置と対策の選択肢を示すものです。

### 日出町子ども・子育て支援事業計画

子ども・子育て支援法に基づき、「質の高い幼児期の学校教育・保育の総合的な提供」「保育の量的拡大・確保、教育・保育の質的改善」「地域の子ども・子育て支援の充実」を目指すものです。

### 日出町教育振興計画

教育基本法に基づき日出町の教育の中・長期的な方向性を明らかにするとともに、年

度ごとの教育方針を定める指針として策定するものです。

教育目標をより具体化できるよう、27年度から3年間の目標を数値化して表しています。

### 南端小・中学校の保護者へのアンケート結果

将来、子どもの就学を希望するかの問いに対してほぼ全ての方が友達が少ないという理由で、希望しないとの回答でした。

## 請願の審査

**年金積立金の専ら被保険者の利益のための安全かつ確実な運用に関する意見書(決議)の採択を求める請願書**

日本労働組合総連合会大分県連合会会長 村田正利氏から請願書が提出されました。

### 【趣旨】

政府は年金積立金管理運用独立法人(GPIF)に対し、リスク性資産割合を高める方向での基本ポートフォリオの見直しをはじめとする改革を求めています。年金積立金は厚生年金保険法などの規定にもとづき、専ら被保険者の利益のために長期的な観点から

安全かつ確実な運用を堅持すべきとの意見書を採択し提出を要望するものです。

ポートフォリオの変更は10月31日に施行されたばかりであり、現時点での意見書の採択は時期尚早という理由で反対多数により不採択となりました。

## 閉会中の審査

11月10日開催

### 子ども・子育て支援新制度

保育と教育を一体的に行い、支援の量の拡充と質の向上を目指し、必要となるすべての家庭が利用できる支援となります。従来の幼稚園・保育所に加えて認定こども園の普及を図り、地域型保育を新設するとともに、放課後児童クラブの充実も図ります。

### 心のプロジェクト

5年生290人を対象に、スポーツ界で活躍した選手を招き「夢をもつこと、その夢に向かって努力することの大切さ」

「仲間と協力することの大切さ」など、講義と実技を通じて伝えられました。

### いじめの定義の変遷

認知件数が多いことは悪いことという風潮があつたため、見て見ぬふりをしたり、隠蔽したりという事案が発生していましたが、最近、解決に向け取り組むことが大切という認識になっています。



心のプロジェクトに参加する児童

# 一般質問



町政を問う



岡山 栄蔵 議員  
(川崎地区)

**問** 町長の考えるツーリズムの展望は

**答** 日出町の発展を目指し頑張りたい

**ツ**ーリズム戦略について

**問**

平成28年3月には的山荘の指定管理者との契約が切れるわけですが、その後、再契約するのか、または町で運営していくのですか。

**商工観光課長**

町が運営した場合はかなりの負担になるので指定管理による運営が今の段階では一番よい方法だと思います。

**問**

町には歴史に詳しい方や町のすばらしい環境を他市町村に知ってほしい方がたくさんいると思います。是非、推進協議会を立ち上げ



国の重要文化財に指定された的山荘

ていただきたいと思います。

**商工観光課長**

敵山荘は重文に指定されることで、文化庁や県等の指導を受けながら保全に努めてい

くよつになると思います。推進協議会については不明な部分も多々あるので、もう少し研究させていただきます。

**問**

担い手の問題など多くの課題がある中、世界農業遺産とグリーンツーリズムの連携についての考えと、一次産業の必要性も考慮した農業体験教育についての考えは。

**農林水産課長**

農業・漁業関係の方を講師に招きうまく結びつけながら教育と推進を続けていきたいと考えています。農業体験教育は、確かに遅れていますので受け入れてもらえる農家はあるのかどうか、その辺を考慮しながら検討します。

**問**

スポーツツーリズムについての考えと、町の強みをどう情報発信し、町内外からの誘客につなげていくのか教育長の考えは。

**教育長**

観光関係者や地域住民の方々の協力が必要です。そういった方々を巻き込んだ形で

の組織体制づくりが急務だと考えています。

**問**

これまでの成果を町長はどう見えていますか。

**町長**

入り込み人口も108万人程になり、いろんな施設を有効活用し、充実してきていますと認識しています。

**問**

今後の観光事業に対する総合的なビジョンは。

**町長**

一番重要なのは、担当している商工観光課、観光協会、さらに農林水産課、生涯学習課などが、各課の垣根を越えて連携することです。また、多くの町民の皆さん方が参加し、率先して活躍していただけるよう精いっぱい努力します。

**質問を終えて**

これまでの成果を継承し、時代にマッチした新たな総合計画の策定を。



金元 正生 議員  
(日出地区)

**問** 人口減少・高齢化社会を巡る諸問題は

**答** 町を挙げて取り組んでいきます

**問**

現在65歳以上の方が人口の30%弱、今後は加速度的に高齢化が進む中で、喫緊の課題として買い物弱者と呼ばれる方々の対応策は。

**政策推進課長**

コミュニティバス事業、地域ネットワーク事業による宅配サービスなどが対策の1つにはなっていると思いますが。経済産業省や県が作成している買い物弱者応援マニュアルを参考にしながら、関係各課と今後とも検討していきます。

**問**

地域の買い物を支える小売、卸売、移動販売、宅配などの事業者も経営が非常に厳しい状況の中、安定して継続できるように直接的支援が今

後は必要と思いますが。

**政策推進課長**

買い物弱者の方々の希望や地域によって、どのような手段がよいかを調査し、先進地を参考にしながら事業者に対する支援策を検討していきます。

**町長**

早期に実態把握を行い、要望に基づき、具体的にどのような方向がよいのか、研究して町を挙げて取り組んでいきます。

**問**

日出城址周辺整備や、JR暘谷駅周辺整備も着々と進んでいますが、その中間に位置する商店街は閑散とする状況です。大型商業



建設が進んでいる複合商業施設

施設が移転することで更に人通りが減少することが予測されますが、商店街の今後は。

**商工観光課長**

日出城址周辺整備に伴い、観光客が増えていることに期待しています。また今年度から空き店舗対策事業として1業者に対して補助を行うことを決定し、来年度も予算化し継続していく方向で取り組む予定です。

**観光振興**

JRデスティネーションキャンペーン(DC)

**問**

DCは、JRグループが総力を挙げて全国から本県へ誘客を図り、100億円を超える経済効果が見込めます。これを機に、交流人口を増やすチャンスでもあるDCへの取り組みは。

**商工観光課長**

今年度は観光素材の洗い出し作業を行い、エージェントに対する視察コースの検討を県全体で行い、来年のDC期間7～9月に向けて、旅行商品を作るための具体的なセーカスを実施したところです。

その他、教育委員会新制度、地方創生についての質問がありました。

**質問を終えて**

早期の実態把握と、時宜を得た取り組みを。



阿部 真二 議員  
(大神地区)

**問** 観光振興の将来像は

**答** 目標設定し、経済効果が生まれる施策を行います

**問** 観光や歴史遺産への投資対効果はどのようになっていきますか。また、更なる整備計画はありますか。

**商工観光課長** 住民が地域にある資源の価値を再認識し、居住地域に誇りを持つことができ、地域の活性化に繋がると考えます。また、平成25年の観光客数が108万人、観光消費額が推定60億円となっています。今後、大神回天基地記念公園の整備を行います。

**問** 観光産業による税収はいくらありましたか。

**商工観光課長** 十分把握はしていませんが、宿泊施設・観光施設の入場料・飲食店への売上に貢献

していると考えます。

**問** ハーモニーランドとの連携・協創による観光振興はできませんか。

**商工観光課長** 東京都多摩市(サンリオピューロランド)の活用例を参考に町としてできる施策を図って行きたいと考えています。

**問** 町内の観光地を周遊する観光コース開発など、利益を生む企画はありませんか。

**商工観光課長** 今後、テーマを定め地域を広げた観光コースを創出していきたいと検討しています。また街歩きガイドを養成



唯一現存する殿様の「風待ち茶屋」(襟江亭)

し、広域での観光も視野に少しでも町に経済効果が生まれる観光コース開発を行っていきたいと考えています。

**問** マイナンバー制度導入による影響と周知方法は

**政策推進課長** 大きな違いは利用範囲の広さだと思います。税分野・社会保障・災害対策など多岐に

マイナンバー制度への移行に伴い住基台帳との違いと町民へ与える影響は。

渡る管理が可能になります。町民への影響は様々な手続きや届けの負担軽減が図れると考えます。

**問** 町独自の活用計画は。

**政策推進課長** 各行政分野・所管事業ごとに何ができるか現在精査しており、行政運営の効率化や町民の負担軽減策を検討しています。

**問** 制度への移行、住民への影響についてどのように周知しますか。

**政策推進課長** 27年10月から通知カードの送付、28年1月から利用開始予定なので、広報紙・ホームページなどを活用し、町民の方にスムーズに導入できるように心がけます。

**質問を終えて**

襟江亭の復元保存をし、日出城址周辺観光の中心に。





佐藤 隆信 議員  
(大神地区)

**問** 米価暴落に町の支援を

**答** 国の状況を踏まえ十分考慮します

**問** 26年度産米価は、昨年に比べて60kg当たりいくら下がりましたか。また、それによる農家の米価収入はいくら減少になりましたか。

農林水産課長

J A べつぶ日出の買い取り価格を参考にすると、25年60kg当たり1万3400円、26年は1万4000円です。10a当たり<sup>(※1)</sup>に換算すると、昨年に比べ2万2500円の減収になります。

**問** 60kg当たり千円の支援をしたらどの程度の予算が必要ですか。

農林水産課長

作付面積290ha、総生産量を1300tと仮定すると2200万円<sup>(※2)</sup>です。

**政策推進課長**  
生活・自然環境を一変させる恐れもあり、周辺住民が危惧していることは承知しています。しかし、特段の法令に抵触しない限り、町から事業中止を要請することはできかねないのが現状です。

**問** 対象となる地元住民から意見を聞き、現地調査をしてほしいと要望があれば、町長はどう対応しますか。

**町長**  
町が一方的な対応をとることとは難しい状況ですが、議会や周辺住民の意見を踏まえながら、

**町長**  
対象者をどう絞るかなど課題があります。国の施策や他市町の状況を踏まえ、十分熟慮させていただきます。

**真那井の太陽光発電建設の中止を**

**問**

太陽光発電が、災害の恐れのある地域に計画・設置されようとしています。危険地域の設置に関しては、町も事業者や住民と話し合い、設置を考え直すようお願いするべきではありませんか。



太陽光発電建設予定地 (真那井)

がら、町として対応させていただきます。

**幼稚園の2年保育を**

**問**

子ども・子育て支援新制度へ移行のなか、幼稚園に子どもを預けたいという保護者が増えています。保育園は定数超え、幼稚園は定数割れの状況のなか、幼稚園の2年保育を考えては。

教育総務課長

幼稚園の対象者263名のうち町立幼稚園には127名の就園です。4歳児が加わると、保育室と職員の不足が想定され、財政面から実施は困難であると考えています。また、2年保育を実施することで、認定子ども園との競争激化を招き、幼児教育にマイナスの影響を及ぼすことが懸念されます。

**質問を終えて**

今年は産業振興に力を入れ、子どもたちが住みたいと思う町に。

(※1) 10a当たりの収量を450kgと仮定した場合

(※2) 米の直接支払い交付金の対象者に限定すると約120haが対象となり、約900万円の予算が必要



池田 淳子 議員  
(藤原地区)

**問** 臨時給付金の未申請者への勧奨は

**答** 状況を見ながら検討します

検討していきます。

**防災への取り組み**

**問** 各区によって災害のテーマが違うと思いますが、3月に行う防災訓練はどのような形態で行いますか。

**総務課長**

南海トラフ大地震の発生とそれに起因する津波を想定した訓練を予定しています。日中中学校を中央会場に設定し、自衛隊の炊飯車や消防署のレスキュー、消防団の特殊積載車などを使い、避難・救助といった訓練を予定しています。その後、各区でテーマに沿った訓練を実施したい

と思います。今後、消防、警察、自衛隊や防災関係者と協議を行いながら詳細を詰めていきます。

**問** 訓練にかかる経費に補助はありますか。

**総務課長**

日岬町自主防災組織活性化事業補助金があり、訓練に3万円、備蓄品に5万円を限度の補助があります。

**問** 防災行政無線の放送が聞こえづらく、大事な情報が伝わらない心配があります。他の手段を考えなくてはいけないのでは。例えば、防災無線で放送した内容をテープで流すテレホンサービスというものがありますか。

**総務課長** スピーカーの向きを調整したり、時間差で放送したいと思います。また、区長や民生委員宅に個別受信機を設置、あるいはテレホンサービスも検討しています。

**防災教育の充実を**

**問** 小中学生への防災教育として何をやっていきますか。

**学校教育課長**

各学校では年間2・3回の避難訓練を行っており、地震、津波、火事、不審者対応を組み合わせて実施しています。また、自然災害の種類、発生のメカニズム、災害の規模や種類によって起こり得る避難の方法を理解させています。



大事な情報を伝えます (防災行政無線)

**問** 申請受付期間が12月26日までですが、個別勧奨などで再度広報は行いますか。

**福祉対策課長**

当初は個別に通知をしましたが、今後は状況を見ながら



川西 求一 議員  
(豊岡地区)

**問**  
平成27年度当初予算  
編成方針は

**答**  
創意工夫をし、新しい発想  
で町民の期待に応えます

**問**

第4次日出町総合計画 後  
期基本計画の最終年度に当た  
る27年度当初予算に対する、  
町長の予算方針は。

**町長**

日出町が国東半島の中心的  
役割を担うまちとして、多く  
の人に訪れていただくような  
町、また多くの人が住み、  
自慢に思い誇りに思ってもら  
う観点で施策を行っていきま  
す。健全財政の維持を大原則  
に、町民の期待に沿えるよう  
将来に向かって投資すべき事  
項については、積極的にに行い  
ます。

**問**

27年度予算方針で具体的事  
業は。

**財政課長**

政策予算は、投資的経費の

部分が大きく、道路事業や下  
水道事業は計画的に進めなけ  
ればなりません。この中で、  
陽谷駅周辺整備事業が最終年  
度となるため、重点的に配分  
していきます。また、人口増  
加策を中心にそれぞれ事業展  
開し、防災行政無線、避難路  
整備、避難所耐震化対策を優  
先して行っていきます。

**子ども・子育て新制度  
の本格的実施にむけて**

**問**

本制度に対する住民説明と  
町の取り組み状況は。

**福祉対策課長**

25年12月子育て支援に関す  
るニーズ調査を行い現在、日  
出町子ども・子育て支援事業  
計画の策定に取り組んでいま  
す。また、地域に出向いて保

育所などの説明会も実  
施しています。

**問**

保育料は、町長の専  
決事項として規則によ  
り徴収を行っています  
が今後、条例化に向け  
た検討をしておりますか。

**福祉対策課長**

現段階では県下の市  
町村が規則で対応して  
いますが、新制度に変  
わるにより今後、  
条例化に向けた検討も  
必要と思います。

**地方の創生計画、  
総合戦略の作成**

**問**

現状の取り組み状況と、今  
後の計画策定作業は。

**政策推進課長**

国の動向を見極めながら、  
11月11日に日出町創生推進本  
部の設置決定し、全職員で日  
出町創生に取り組むため本部  
長を町長、副本部長を副町長  
と教育長、すべての課長を本  
部員としています。これまで



子育て支援制度が新しくなります

の縦割り行政を払拭し個性あ  
る総合戦略を来年度中に作成  
します。

**質問を終えて**

「大分県の創生は、日出  
町から」の気概で行って  
ほしい。



岩尾 幸六 議員  
(川崎地区)

**問** 家具転倒防止の補助制度の利用率は

**答** 現在の利用者は少ないのが現状です

**問** 65歳以上の高齢者家庭を対象に家具転倒防止の補助制度がスタートしていますが、現在の取付け状況は。

**総務課長**

家具転倒防止の取付けは1世帯のみです。今後は全戸へ補助金政策情報を回覧などで知らせて世帯数増加に努めます。

**問** 女性防災士の増加計画は。

**総務課長**

女性防災士はできるだけ早い時期に各地区に配置したいと思っています。今後は、避難所での炊き出しや避難訓練での活躍を期待し、防災士会の中に女性部会の立ち上げを計画しています。

**日出町の農業に関して**

**問** 町の特産品はどのような農産物が栽培されていますか。

**農林水産課長**

水稲、キュウリ、トマト、白ネギ、カボチャ、ハウスミカン、銀杏などです。

**問**

特産品は今後も継続的な政策を行わないと衰退が懸念されますが、農業従事者の平均年齢と後継者のいる世帯の割合は。

**農林水産課長**

農業従事者の平均年齢は70歳です。農業後継者のいる販売農家数は558戸で後継者が



稲作農家の維持存続を

**問** 同居している戸数は278戸と約50%です。農業就業人口と農業を実際に従事している50歳以下の人数をみると、就業人数939名に対し50歳以下の人数は123名で全体の13%と若い従事者が少ないというのが現実です。

**問** 農業従事者の高齢化と後継者不足では将来の日出町農業は衰退の一步をたどることが予測されます。若者が農業へ

の関心を持つような策はありますか。

**農林水産課長**

農業に関心を持たせるには儲かる農業が求められます。5年間の農業計画を立て町が認定する認定業者になり県や国の補助、制度資金の借り入れが可能となる認定農業者制度があります。認定農業者の育成を町として後押ししていきます。

**問**

今後の農業をどのように活性化に結び付けますか。

**町長**

創意工夫を凝らした農業を真剣に考えないとだめだと思います。地方の農業活性化として農業や水産業と観光を結び付け、特産品や加工品を更に提供できる販売網の整備が必要と感じています。

**質問を終えて**

ホームページに特産品や観光農園を紹介しては。



工藤 健次議員  
(大神地区)

**問** 駅周辺の駐車場問題は

**答** 重要と考え努力します

**問**

陽谷駅周辺の駐車場の今後は。

**都市建設課長**

陽谷駅周辺の整備やトキハ開店に伴い、駅周辺の駐車場の利用形態は随分変わると思います。関係者と調整を図り整備を進めていきます。

をしていきます。

**問**

陽谷駅北側に新しくできる駐車場は、有料無料どちらですか。

**問** 職員駐車場や町有地の無料駐車場は、具体的にどうしますか。

**都市建設課長**

工事関係の施設、資材置き場などで利用する可能性があるので、1月中には職員と相談します。また、トキハや陽谷駅利用の方にも結論を出してお知らせ



町職員の駐車場がなくなります

**都市建設課長**

無料化は無断で目的外利用される問題があり、有料化の方針です。

**問**

日出駅周辺の駐車場は、どうなっていますか。

**都市建設課長**

駅南側の駐車場については、空き地などを検討しましたが見つかっていません。

**町長**

北側には友田竹光線で購入した用地があり、暫定的な駐車場として検討しています。南側にも空き地などがあり、借用できないか今後も折衝していきます。

### 生活環境

**問**

小型合併処理浄化槽の普及やPRの取り組みは。

**上下水道課長**

浄化槽設置整備事業補助金制度を設けて、設置換えをする方に対し工事費の約4割を補助しており、平成2年から602基の設置を行っています。広報誌、回覧、管工事組

合などを通じて制度の周知を行っています。また地区の総会など機会があればお伺いして説明をしていきます。

**問**

環境美化条例に、犬の糞放置禁止を追加する考えは。

**生活環境課長**

看板の設置やチラシを配るなど、飼い主のマナーの啓発を行っています。条例の改正は、3月議会に出せるように検討していきます。

**問**

ゴミ減量の取り組みは。

**生活環境課長**

資源ごみの集団回収、小型家電など、リサイクルの推進や電動生ゴミ処理機の助成金額を増額し、ごみの減量化に取り組んでいます。

### 質問を終えて

町民が困っていることを最優先に。



第1回  
住民の  
みなさん  
との

# 意見交換会



日出町議会では、住民と議会のつながりを実感できる取り組みである意見交換会を実施しました。第1回となる今回、77人の参加になりましたが、参加者から直接、貴重な意見をいただき、今後の町政、議会活動に反映していきたいと考えます。

## ■第1班(総務産業委員会)

開催日	地区	参加人数
10/28	日出地区	14人
10/29	豊岡・南端地区	18人

## ■第2班(福祉文教委員会)

開催日	地区	参加人数
10/28	大神地区	10人
10/29	藤原地区	27人
10/30	川崎地区	8人

意見交換会では、多くの貴重な質問・意見・要望をいただきアンケートにも協力していただきました。

### 主な質問・意見・要望

#### 【日出地区】

- 議会として防災、観光、産業の振興をどのように考えているか
- 行政の子エックだけでなく各分野でビジョンをもって提案してもらいたい
- 道の駅の設置を検討しては
- 上水道場あたりにトイレを設置してほしい
- 農業と観光を絡めて産業振興ができないか
- メガソーラーは、町、議会も慎重に検討してほしい
- 水神祭りは、今年なぜ実施しないのか
- 危険箇所が避難所になっっているがどうすればいいのか
- 高平く速見の道路は離合ができるよう、また目刈にも大きな道路を作ってほしい



多くの方のご参加を

#### 【大神地区】

- 中心地から遠い地域のコミュニティバスの料金を半額に検討して
- 給食の食材は、地元生産食材を使用しているのか
- 図書館の貸貸料は20年12億円は妥当か
- 販売価格低迷で米作廃業の声が聞かれるが、対応は
- TPPへの議会の対応は
- 介護保険や地域包括ケアシステムの詳しい広報を

#### 【藤原地区】

- 本会議の傍聴は可能だが、各委員会の傍聴はできるか
- 介護保険料は県内3位と高額だが原因は
- 新給食センターはテキサス跡地の利用はダメなのか
- 日出町の雇用を今後どのように進めるのか
- 災害の改修工事費の負担割合を軽減できないか
- 高齢化地域の町道の草刈りを速やかにまちで実施

#### 【川崎地区】

- 視察研修の町民への報告はしているか
- 台風による日出駅の浸水や駅前道路の水溜りは幾度も問題視されている
- 川崎小学校の通学路が狭いので、早急に道路拡幅を
- 津波災害時、高台避難のための踏み切りやその他避難路の設置を早急に
- 敬老会の助成金の見直し
- テキサスの跡地利用は

今後、いただいた意見や要望は、議会ですっかり審議し随時結果を報告していきます。



## 賑いのあるまちづくりと人口増加

総務産業常任委員会

日時

11月6日～8日

研修先

東京都多摩市

埼玉県春日部市

研修目的

キャラクターを活用したまちの賑い創出と、他自治体との差別化・人口増加策の先進地視察研修を行い日出町の明るい未来につなげる。



多摩センター 40m ペデ（遊歩道）  
しまじろう広場に設置されたモニュメント

### ▼多摩市

#### 「まちづくり施策概要」

市内外から多くの人が訪れ、賑いが創出されるまちづくりを進めるために、市民と事業者（サンリオ）が協働し、地域にある資源や個性を活かしたまちの魅力づくりを実践。

#### ■主な施策の方向性

- ① 観光資源の発掘、活用
- ② まちの魅力の発信
- ③ にぎわい空間の創出
- ④ 担い手づくり
- ⑤ 特産品づくり

### ▼春日部市

#### 「かすかべ未来研究所の概要」

市民ニーズにバランスよく、かつ的確に対応するため、庁内シンクタンクとして「かすかべ未来研究所」を設置し、調査研究を行い人口増加に寄与。

#### まとめ

日出町の状況や町民の要望を調査研究し、町の資源や個性を活かした魅力ある町創りを実践し、賑いと活力ある日出町を創成していきたい。

## 介護予防と教育環境

福祉文教常任委員会

日時

10月8日～10日

研修先

埼玉県和光市

千葉県成田市・浦安市

研修目的

- 地域包括ケアシステム
- 小中連携・一貫教育
- 学校給食センターの運営

研修内容

### ▼和光市

介護予防に力を入れることにより、80歳から84歳の介護認定率が全国平均より大きく下回り、大きな成果を挙げています。

#### まとめ

地域一体となったサービスが充実し、介護保険卒業者の受け皿が確立されてきました。

### ▼成田市

4小学校を統合した新たな小学校を創立し中学校敷地内に校舎を建設。



新たな発想で学校運営（成田市）

小中一貫教育の学園がスタートしました。

#### まとめ

中一ギャップやいじめの早期発見には効果がある期待できます。

### ▼浦安市

民間の資金、経営能力及び技術能力を活用したPFI方式を導入しており、施設維持管理を特定目的会社に行います。

#### まとめ

給食センター建設が望まれますが、財政面を考慮すると、PFI方式は効果的であると思います。

# 町民の 声

## 『心身共に健康な人、 町づくり』

食育ネットワークくひじ代表



日出東仁王区  
宮垣 裕子

「日出小学校が素晴らしい所にある。」別府在住の妹の一言で日出に住んで18年になります。私が生まれ育った福島県福島市は、山に囲まれた盆地でしたので、日出城址から眺める別府湾の絶景に感動いたしました。当時、今私が住んでいる所は、山からパラグライダーが着地できる草地でした。次々に商業施設、病院、福祉施設、公園、住宅等建設され、大変便利になりました。高齢化も進んでますが、伝統文化もきちんと継承され、地元の皆様の「地域力」は素晴らしいと思います。そして私自身が、学校の先生方や地域の皆様のおかげで、安心して子育てができました事に、大変感謝しております。

お世話になっている町のために、私ができる事でお役に立つ事があればと、デイサービスでのフラーセラピー、児童作品展の実行委員をさせていただいております。平成17年「食育基本法」が施行され翌年「大分県食育推進計画」からの要請で、平成18年10月に「食育ネットワークくひじ」を設立、日出町保健福祉センターで、毎月1回、学習と料理教室をセットにした「食育セミナー」を開催する事

になりました。安心・安全で生命力のある食材を使った日本型食生活を実践している仲間達と共に、専門家のアドバイスをいただきながらの立ち上げでした。生活習慣病の予防や健康寿命の延伸を図る、食を通して心身共に健康な人、家族を増やす事が目標です。旬の食材が主役のレシピで、野菜をたくさん使います。

四季を通して最高の食材をいただく事ができ、生産者の皆様に感謝です。「野菜嫌いだっただ子が野菜をたくさん食べるようになりました。」「かぜをひかなくなりました。」等嬉しいご報告をいただいています。参加者は、老若男女様々です。どなたでも参加していただけます。今年1月で100回目を迎えました。これまで小中学校にも入らせていただきましたが、子ども達の食環境も様々で、学校給食の役割も重要であると思っております。町内には、たくさん料理教室があり、食を大切にされる方が多い事もわかりました。これからも、皆様からの、ご指導を賜わりながら、心身共に健康な人、町づくりのお手伝いをさせていただきますと思います。よろしくお願いいたします。

## お 詫 び

前回98号の議会だよりの教育委員会委員のご紹介で木付尚巳氏の名前に誤りがありました、訂正してお詫びいたします。

## 新人議員の初研修

全国町村議会広報研修会  
10月21・22日、昨年に続き参加したのは、1期生議員が3名編集委員になったことから、広報の意義や全国他町村の取り組みを知ってもらうためです。研修初日には、3名の講師を迎えて、専門分野の基礎知識の講演が行われ、20日は、全国9町の議会広報誌を実際にクリニックして、優劣を学びました。

編集委員会は、広報のみならず、公聴の役割も今後求められると考えています。議会改革の視点から、「自治体議会の地位向上へ向けた広報の役割」をも果たすべく今後も研鑽を重ねていきます。

## 編集後記

12月5日～12月19日まで開催された定例会も終え、私も新人議員にとって3回目の定例会となりました。

各議員がそれぞれの思いを2日、3日目の一般質問で述べ、町長、執行部に対し質問を行う訳ですが、今回も様々な質問事項があり、地域の問題、子育ての問題、防災の問題など、活発な意見が出ました。

今年度に入り、傍聴者の数も増え、新しい議会への期待と、これからの議会の要望をよくお聞きします。「議会だより」だけの声ではなく、議場での討論も聞いてみてはいかがでしょうか。

(岡山 栄蔵)

編集委員長	森 昭人
副委員長	土田 亮治
委員	池田 淳子
委員	上野 満
委員	阿部 真二
委員	岡山 栄蔵